Panasonic®

ステレオカセットデッキ

# 取扱説明書

品番　**RS-HDA710**

## もくじ



このたびは、ステレオカセットデッキをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

**上手に使って上手に節電**

**保証書別添付**

# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
|  警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は、絵表示の一例です。）

| | |
|---|---|
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |

## ⚠ 警告

### ご使用について

**機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない**

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

**分解、改造しない**

分解禁止

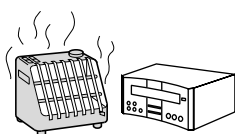
- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

## ⚠ 注意

### 設置・接続について

**油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない**

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

**異常に温度が高くなるところに置かない**

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

**不安定な場所に設置しない**

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

### ご使用について

**テープ挿入口の奥には手を入れない**

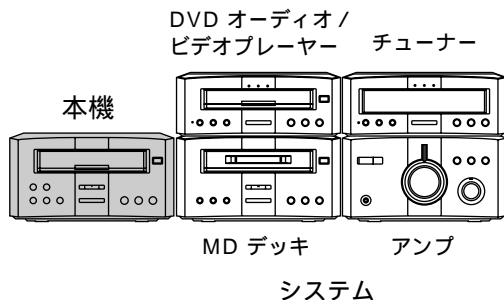
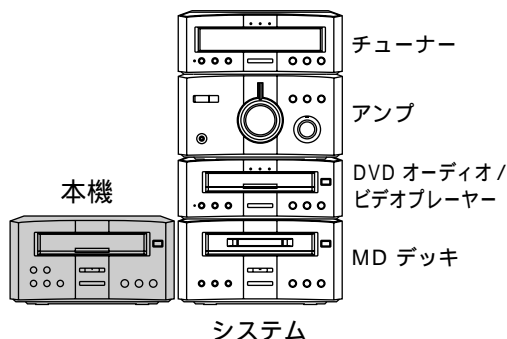
指に注意

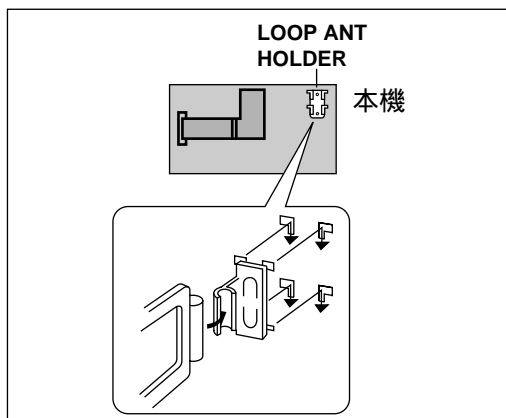
- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

# 設置と接続

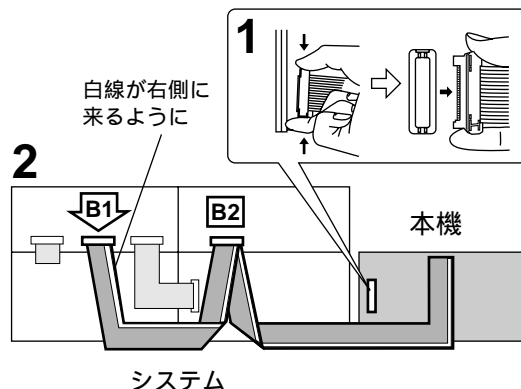
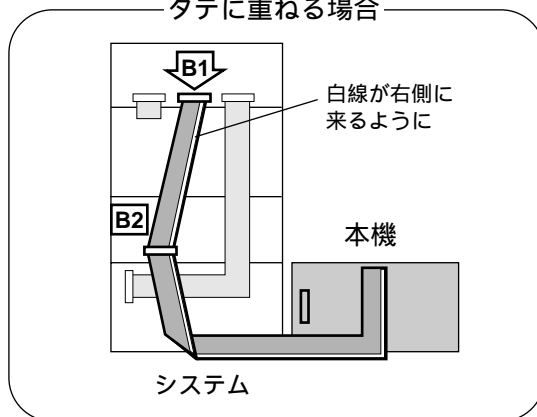
## 設置

本機はシステム（SC-HDA710 など）に対して、以下のように設置してください。

**例：**
SC-HDA710 と組み合わせる場合
（他のシステムの場合も、本機の位置は同じです。）

**お知らせ**

- 本機は、当社指定システム（SC-HDA710 など）専用のカセットデッキです。他の機器とは接続できません。
- システムの AM アンテナを、本機の後面に取り付けることができます。（下図参照）

## 接続

**1** 本機後面のケーブル留めからフラットケーブルのコネクターを抜く。

**2** 本機のフラットケーブルのコネクターを、システムの B1 および B2 端子に接続する。（カチッと音がするまで差し込んでください。）

**お知らせ**

**システムに付属しているフラットケーブルの短い方は使用しません。**

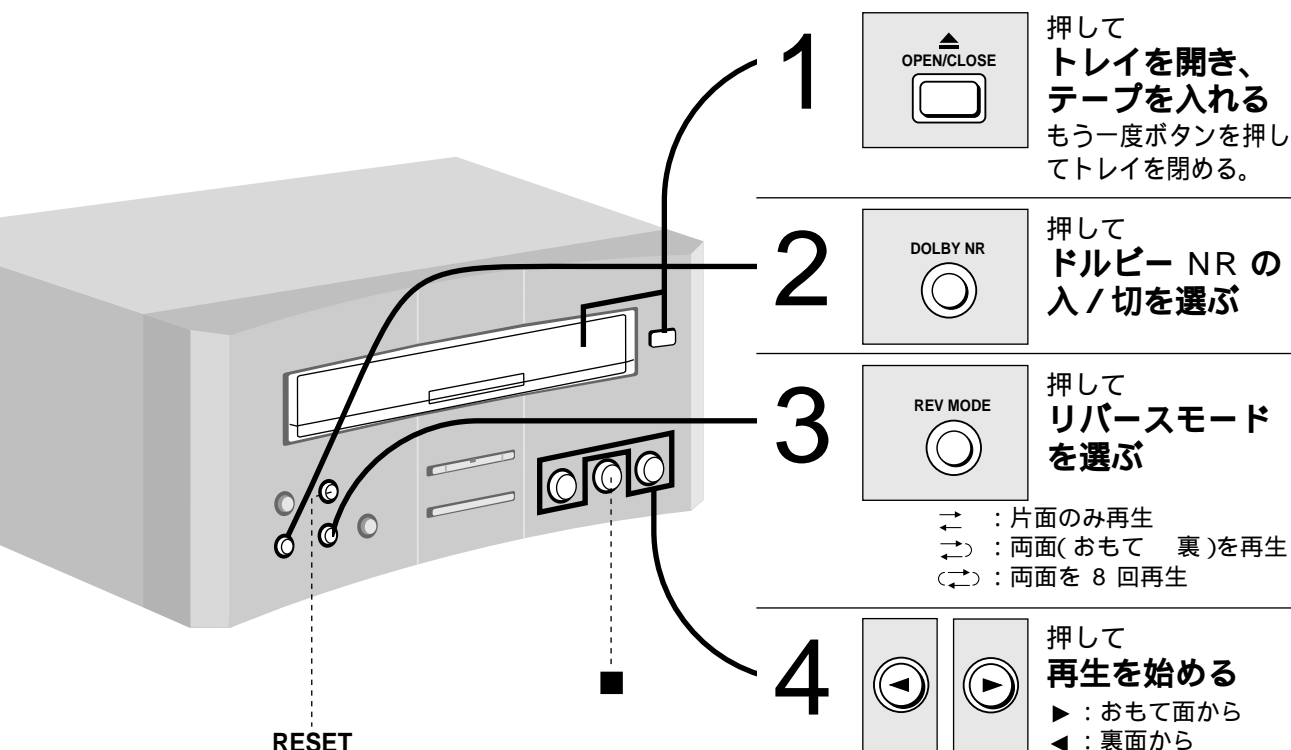
# テープを聞く

**準備**：システムの電源を入れる。
本機の電源も入ります。

**1** 押して
**トレイを開き、テープを入れる**
もう一度ボタンを押してトレイを閉める。

**2** 押して
**ドルビー NR の入／切を選ぶ**

**3** 押して
**リバースモードを選ぶ**
⇄：片面のみ再生
⇄：両面（おもて→ 裏）を再生
⇄：両面を 8 回再生

**4** 押して
**再生を始める**
▶：おもて面から
◀：裏面から

再生面のボタンのランプが緑色になります。
再生が終わると自動停止し、ランプがオレンジに変わります。

**再生を途中で停止するには**
[■] を押す。
再生していた面のランプがオレンジになります。

**テープカウンターをリセットするには**
[RESET] を押す。
カウンターが“ 000 ”になります。

**本機で再生できるテープ**

| | |
|---|---|
| NORMAL POSITION（ノーマルポジション）／TYPE Ⅰ | ○ |
| HIGH POSITION（ハイポジション）／TYPE Ⅱ | ○ |
| METAL POSITION（メタルポジション）／TYPE Ⅳ | ○ |

テープの種類は自動的に判別されます。

## システムのリモコンで操作するには

| 操作 | リモコンのボタン |
|---|---|
| 再生 | ◀/II　▶ |
| 停止 | ■ |
| 頭出し／早送り／巻戻し | ◀◀　▶▶ |
| 入力をテープにする | TAPE |

**お知らせ**

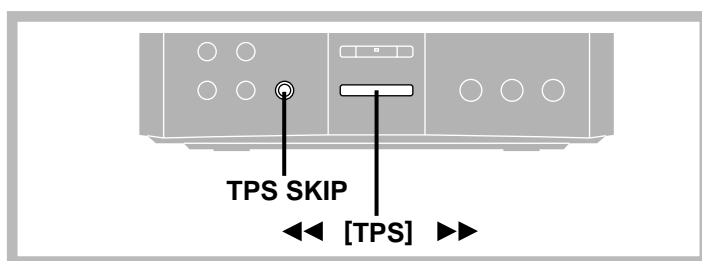
- 頭出し／早送り／巻戻しのボタンは、システムによっては I◀◀/◀◀　▶▶/▶▶I と表示されています。
- リモコンでの頭出しは再生中のみ行えます。（回数を選ぶことはできません。）

押すたびに 点灯(入)↔消灯(切)

おもて面 (▶) 側のボタン
を押した場合の表示
(すぐに消灯します)

**お知らせ**

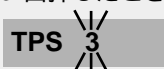
- テープをトレイに入れた後、[ ◀ ] または [ ▶ ] を押すと、自動的にトレイが閉まり再生が始まります。
- 両面再生のとき、裏面から再生を始めると、おもて面の再生は 1 回少なくなります。

**ワンタッチプレイ**
すでにテープが入っているときは、電源「切」の状態からリモコンの [TAPE] を押すだけで、テープの再生が始まります。
このとき音量は、電源を切る前のレベルまで徐々に上がります。

## 曲の頭出しをする
### (TPS：テーププログラムセンサー)

曲と曲の間の無音部 (約 4 秒以上) を検出して、そこから再生します。

曲を飛び越す回数だけ (9 回まで)
**[TPS SKIP] を押し**
約 4 秒以内に、飛び越す方向に合わせて
**[TPS ( ◀◀ ) または ( ▶▶ )] を押す**
テープが早送りまたは巻戻しされ、選んだ曲から再生が始まります。

例：3 回押したとき
TPS 3

| | | |
|---|---|---|
| ▶ おもて面再生時 | ◀◀ 戻る | 進む ▶▶ |
| ◀ 裏面再生時 | ◀◀ 進む | 戻る ▶▶ |

- 1 回だけ飛び越す場合は、再生中に [TPS ( ◀◀ ) または ( ▶▶ )] を押すだけでも行えます。
- TPS 動作中に飛び越し回数や方向を変える場合は、[■] でいったん停止させてから、上記操作を行ってください。

**お知らせ**

以下の場合、TPS が正しく働かないことがあります。
- 曲間が短いとき (4 秒未満)
- 曲間に雑音があるとき
- 曲中に無音に近い部分があるとき

## 早送り／巻戻しする

**停止中に**
**[TPS ( ◀◀ ) または ( ▶▶ )] を押す**

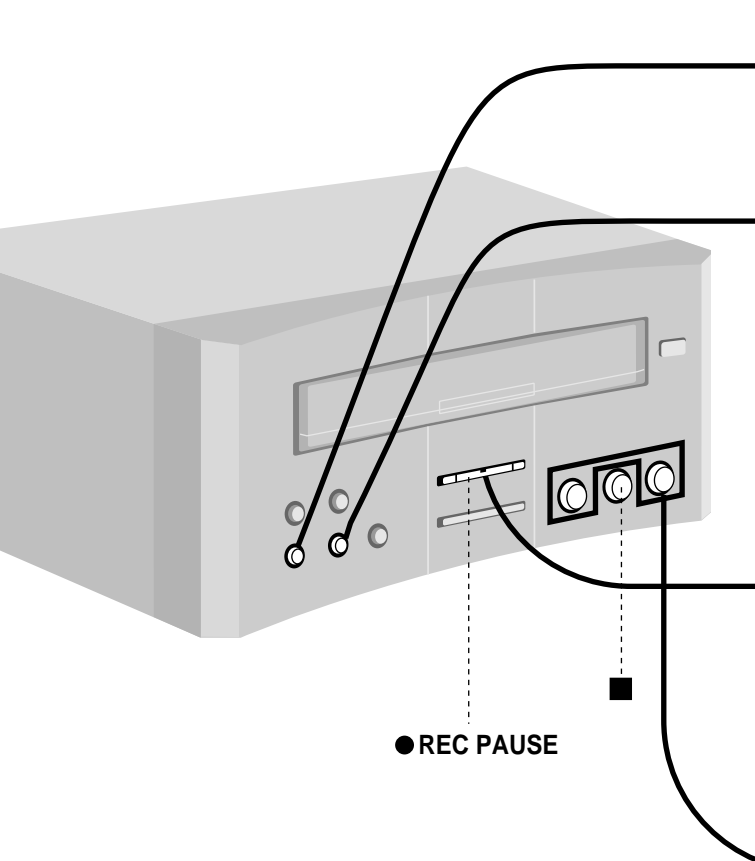
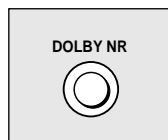
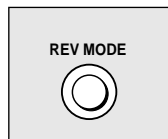
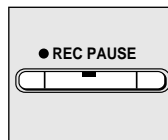
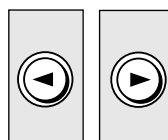
| | | |
|---|---|---|
| ▶ おもて面点灯時 | ◀◀ 巻戻し | 早送り ▶▶ |
| ◀ 裏面点灯時 | ◀◀ 早送り | 巻戻し ▶▶ |

本機は、早送り／巻戻しの速さが自動的に 2 倍になる高速走行機能を備えています。テープ終端までくると通常の速度に戻ります。

**お知らせ**

早送り／巻戻しを始めた位置によっては、高速にならないことがあります。

# 録音する

**準備：** システムの電源を入れ、テープを入れる。(⇒ 4 ページ)
テープの始めから録音するときは、リーダーテープ部を送り出してください。(⇒ 8 ページ)

6
**ソースの再生を始める**

### 本機で録音できるテープ

| | |
|---|---|
| NORMAL POSITION／TYPE Ⅰ (ノーマルポジション) | ○ |
| HIGH POSITION／TYPE Ⅱ (ハイポジション) | ○ |
| METAL POSITION／TYPE Ⅳ (メタルポジション) | ○ |

テープの種類は自動的に判別されます。

**録音（テープ走行）が終わると**
本機は自動停止します。
ソース側はそのまま再生を続けます。

**録音を途中で停止するには**
[■] を押す。

## システムのシンクロ録音機能を使う（くわしくはシステムの説明書をご覧ください。）

システム側プレーヤーのボタンで、本機の録音動作をコントロールすることができます。
（MD デッキや外部機器からは行えません。）

**お知らせ**

シンクロ録音は、点灯している再生ボタンの面で行われます。違う面で行うときはあらかじめ切り換えてください。（[ ◀ ] または [ ▶ ] を押して、すぐ [■] を押す。）

**録音するときは**
上記手順 4 で録音待機状態にした後、プレーヤーの [ ▶ ] を押すと、再生と録音が同時に始まります。

**録音中にプレーヤーの ［❚❚］ を押すと**
プレーヤーが一時停止した後、本機は約 4 秒の無音録音を行ってから一時停止します。プレーヤーの [ ▶ ] を押すと、録音に戻ります。

表示窓はシステム側にあります。(下記は SC-HDA710の表示例です。)

押すたびに 点灯(入)↔消灯(切)

押すたびに
⇄ → ⇄ → ⇄

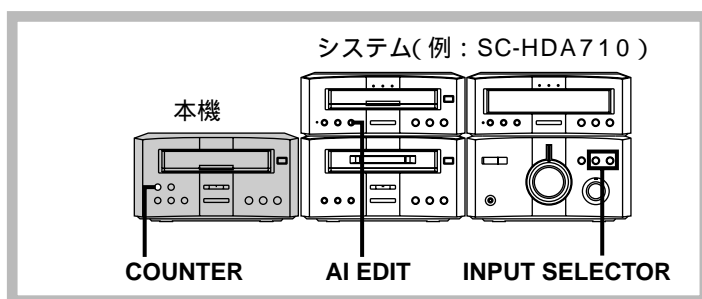
システムの入力切換は、必ず再生するソースにしてください。

このときは、再生ボタンのどちらのランプが点滅していてもかまいません。

両面を録音する場合は、必ずおもて面から始めてください。

録音レベルは自動で調整されます。

**録音を一時停止するには**
[● REC PAUSE] を押す。
録音に戻るには、[ ◄ ] または [ ► ](点滅している方)を押す。

**録音中にプレーヤーの [■] を押すと**
プレーヤーは停止し、本機は一時停止状態になります。この間に CD などを入れ替えることができます。プレーヤーの [ ► ] を押すと、録音に戻ります。
録音を停止するには、本機の [■] を押してください。

## 音楽 CD から 1 ボタンで録音する (AI 編集録音)

テープ終端で曲が途切れないよう、音楽 CD の曲をテープのおもて面と裏面に振り分けて録音します。
テープは自動的に巻き戻され、おもて面の頭から CD の曲順通りに録音します。

**準備:**
1. テープを入れ、ドルビーNR の入/切とリバースモードを選ぶ。(左記手順 1、2)
2. CD を入れ、システムの [INPUT SELECTOR] でプレーヤーを選ぶ。

**停止中にシステムの**
**[AI EDIT] を押して、“ CD ▸ TAPE ”を選ぶ**

押すたびに
CD ▸ TAPE→CD ▸ MD→
EDIT OUT (解除)

| CD ▸ TAPE | AI EDIT |
|---|---|

テープが巻き戻されテープ長を計測します。おもて (A) 面と裏 (B) 面に録音される曲数と残り時間が表示された後、録音が始まります。

(表示例: おもて面に 6 曲録音される場合)

CD T6 0:46
SIDE A

**裏面にも曲が振り分けられているときは**
おもて面の録音が終わった後、計測のためテープ終端まで無音で録音します。

**録音が終わると**
本機の録音と CD の再生が自動停止します。
テープに残り時間があるときは、“ LINK ”と残り時間が点滅します。
別の CD に入れ替えた後、プレーヤーの [ ► ] を押すと、再び AI 編集録音が行われます。(入れ替えた CD の 1 曲目がテープの残り時間より長い場合は行われません。)

**録音を途中で停止するには**
本機の [■] を押す。
CD の再生も停止します。

**好みの曲順で録音するには**
システムで CD のプログラムを行ってから、[AI EDIT] を押す。

## 録音中にテープカウンターを見る

**[COUNTER] を押す**
テープカウンターが約 5 秒表示されます。

# テープ／著作権／お手入れ

## テープについて

### 録音時の音量や音質

システムで音量や音質を変えても、録音される音には影響しません。
ただし、SC-HDA710 などで音声切り換え操作（V.S.S. など）を行うと、音が途切れます。

### 録音を消して、無音テープを作るには

1. システムの入力切り換えで“ TAPE ”を選ぶ。
2. ドルビーNR を「切」にする。
3. リバースモードを選ぶ。
4. [● REC PAUSE] を押す。
5. [◀ ] または [▶ ] を押して、無音録音を行う。

### ドルビー NR システム

「サー」というテープ特有のノイズを減らすシステムです。録音時に高い周波数部分のレベルを上げ、再生時にその分だけレベルを下げます。
ドルビー NR の効果は、録音時と再生時を同じ状態にすることで得られます。再生時または録音時のみドルビー NR を使用しても、正常な音質にはなりません。本機は、ドルビー NR の B タイプを搭載しています。
**B タイプ：**
ノイズは約 1/3 になります。一般に「ドルビー NR」とだけ表示された市販のミュージックテープや機器はこのタイプです。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

### 100 分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。
（回転部に巻き込まれることがあります。）

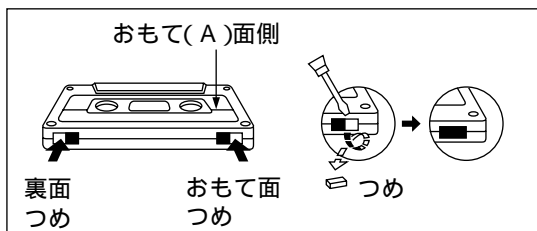
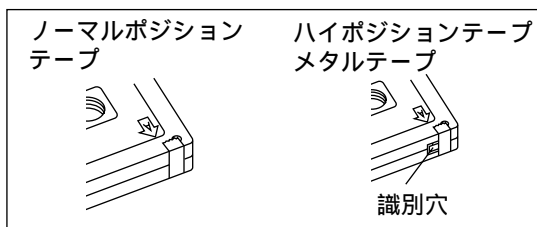
### エンドレステープは、オートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ず、テープに添付の使用説明をお読みください。

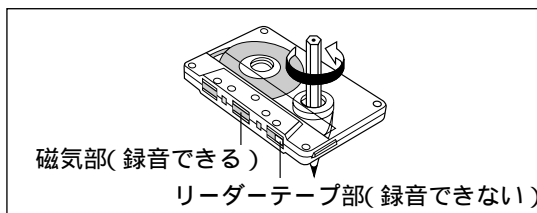
### テープのたるみを巻き取ってください

たるんだままにしておくと、テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

### 大切な録音を誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折ってください。

**もう一度録音するには**
セロハンテープを貼ってください。

ハイポジション、メタルテープの種類識別穴はふさがないでください。

### 録音で頭切れしないために

リーダーテープ部を送り出してください。

### テープの保管

次のような場所に置かないでください。
- 直射日光の当たるところ
- 高温（35 °以上）や高湿（80 %以上）のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くや、テレビの上など）

## 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

**日本音楽著作権協会**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本部 | (03)3502-6551 | 中部支部 | (052)583-7590 |
| 北海道支部 | (011)221-5088 | 北陸支部 | (0762)21-3602 |
| 盛岡支部 | (0196)52-3201 | 京都支部 | (075)251-0134 |
| 仙台支部 | (022)264-2266 | 大阪支部 | (06)6244-0351 |
| 大宮支部 | (048)643-5461 | 大阪北支部 | (06)6244-7077 |
| 東京支部 | (03)3562-4455 | 神戸支部 | (078)322-0561 |
| 西東京支部 | (03)3232-8301 | 中国支部 | (082)249-6362 |
| 東京イベントコンサート支部 | (03)5286-1671 | 四国支部 | (0878)21-9191 |
| 立川支部 | (0425)29-1500 | 九州支部 | (092)441-2285 |
| 横浜支部 | (045)662-6551 | 鹿児島支部 | (0992)24-6211 |
| 静岡支部 | (054)254-2621 | 那覇支部 | (098)863-1228 |

## 本機のお手入れ

**柔らかい布でふいてください。**
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

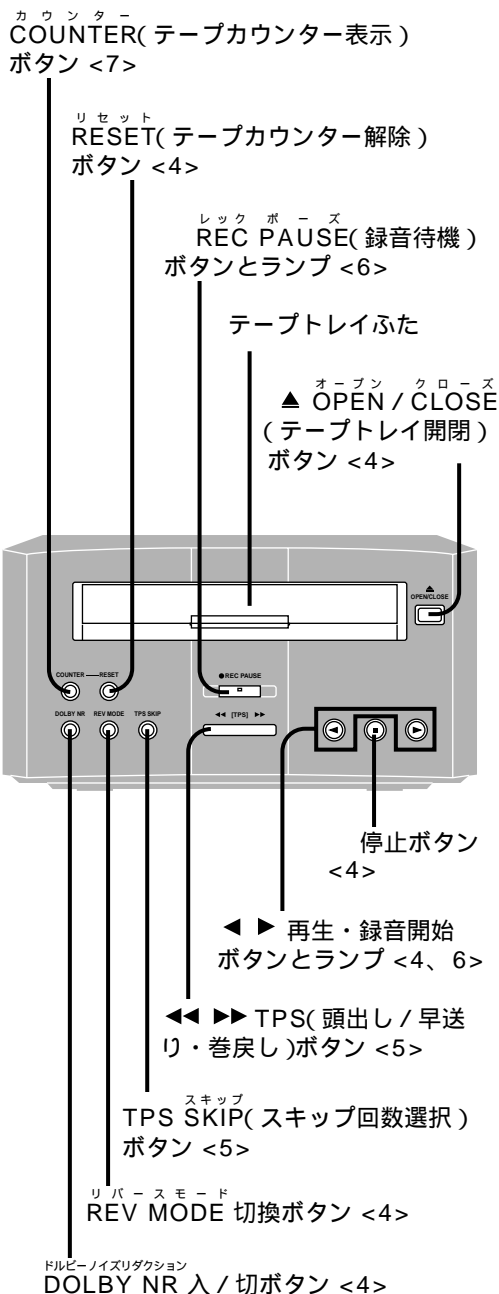
**よい音でお楽しみいただくために**
約 10 時間使用するごとに、市販のクリーニングテープで、ヘッド部を清掃されることをおすすめします。

**音のエチケット**

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

# 各部のなまえ

< > 内の数字は参照ページを示しています。

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

**修理・お取り扱い・お手入れ**
などのご相談は…
**まず、お買い上げの販売店へ**
お申し付けください

**転居や贈答品などでお困りの場合は…**

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

### ■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### ■ 修理を依頼されるとき

裏表紙の表に従ってご確認のあと、直らないときは、フラットケーブルを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

**●保証期間中は**

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

**●保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ステレオカセットデッキの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
(この期間は通商産業省の指導によるものです。)
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**●修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。
**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
**お客様ご相談センター**

**使いかた・お買い物のご相談は**

**フリーダイヤル (料金無料)** 0120-878-365 (パナは 365日)

**365日／受付9時～20時**

**Help desk for foreign residents in Japan**
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
**Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

# 修理ご相談窓口

修理のご相談は

**ナビダイヤル（全国共通番号）　☎ 0570-087(パナ)-087(パナ)**

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
　呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
　（ナビダイヤルはご利用頂けません）

## 北海道地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 札幌 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 | ☎(011)894-1251 |
| 旭川 | 旭川市2条通21丁目左1号 | ☎(0166)31-6151 |
| 帯広 | 帯広市西19条南1丁目7-11 | ☎(0155)33-8477 |
| 函館 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） | ☎(0138)48-6631 |

## 東北地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 青森 | 青森市大字八ッ役字矢作1-37 | ☎(017)739-9712 |
| 秋田 | 秋田市御所野湯本2丁目1-2 | ☎(018)826-1600 |
| 岩手 | 盛岡市羽場13地割30-3 | ☎(019)639-5120 |
| 宮城 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 | ☎(022)387-1117 |
| 山形 | 山形市流通センター3丁目12-2 | ☎(023)641-8100 |
| 福島 | 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 | ☎(0243)34-1301 |

## 首都圏地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 栃木 | 宇都宮市御幸町194-20 | ☎(028)689-2555 |
| 群馬 | 高崎市萩原町沖中205-18 | ☎(027)352-1109 |
| 水戸 | 水戸市柳河町309-2 | ☎(029)225-0249 |
| つくば | つくば市花畑2丁目8-1 | ☎(0298)64-8756 |
| 埼玉 | 桶川市赤堀2丁目4-2 | ☎(048)729-2102 |
| 千葉 | 千葉市中央区星久喜町172 | ☎(043)208-6034 |
| 東京 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 | ☎(03)5450-7431 |
| 山梨 | 甲府市下飯田2丁目1-27 | ☎(0552)22-5171 |
| 神奈川 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 | ☎(045)840-3155 |
| 新潟 | 新潟市東明1丁目8-14 | ☎(025)286-7725 |

## 中部地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 石川 | 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 | ☎(076)294-2683 |
| 富山 | 富山市寺島1298 | ☎(076)432-8705 |
| 福井 | 福井市開発4丁目112 | ☎(0776)54-5606 |
| 長野 | 松本市大字笹賀7600-7 | ☎(0263)58-0073 |
| 静岡 | 静岡市西島765 | ☎(054)287-9000 |
| 名古屋 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 | ☎(052)819-0225 |
| 岡崎 | 岡崎市岡町南久保28 | ☎(0564)55-5719 |
| 岐阜 | 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 | ☎(058)323-6010 |
| 高山 | 高山市花岡町3丁目82 | ☎(0577)33-0613 |
| 三重 | 久居市森町字北谷1920-3 | ☎(059)255-1380 |

## 近畿地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 滋賀 | 守山市勝部6丁目2-1 | ☎(077)582-5021 |
| 京都 | 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 | ☎(075)672-9636 |
| 大阪 | 大阪市北区本庄西1丁目1-7 | ☎(06)6359-6225 |
| 奈良 | 大和郡山市椎木町404-2 | ☎(0743)59-2770 |
| 和歌山 | 和歌山市中島499-1 | ☎(073)475-1311 |
| 兵庫 | 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 | ☎(078)272-6645 |

## 中国地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 鳥取 | 鳥取市安長295-1 | ☎(0857)26-9695 |
| 米子 | 米子市米原4丁目2-33 | ☎(0859)34-2129 |
| 松江 | 松江市西津田2丁目10-19 | ☎(0852)23-1128 |
| 出雲 | 出雲市渡橋町416 | ☎(0853)21-3133 |
| 浜田 | 浜田市下府町327-93 | ☎(0855)22-6629 |
| 岡山 | 岡山県都窪郡早島町矢尾807 | ☎(086)292-1162 |
| 広島 | 広島市西区南観音8丁目13-20 | ☎(082)295-5011 |
| 山口 | 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 | ☎(0839)86-4050 |

## 四国地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 香川 | 高松市勅使町152-2 | ☎(087)868-9477 |
| 徳島 | 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 | ☎(088)698-1125 |
| 高知 | 南国市岡豊町中島331-1 | ☎(088)866-3142 |
| 愛媛 | 松山市土居田町750-2 | ☎(089)971-2144 |

## 九州地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 福岡 | 春日市春日公園3丁目48 | ☎(092)593-9036 |
| 佐賀 | 佐賀市本庄町大字本庄896-2 | ☎(0952)26-9151 |
| 長崎 | 長崎市東町1949-1 | ☎(095)830-1658 |
| 大分 | 大分市萩原4丁目8-35 | ☎(097)556-3815 |
| 宮崎 | 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 | ☎(0985)85-6530 |
| 熊本 | 熊本市健軍本町12-3 | ☎(096)367-6067 |
| 天草 | 本渡市港町18-11 | ☎(0969)22-3125 |
| 鹿児島 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 | ☎(099)250-5657 |
| 大島 | 名瀬市矢之脇町10-5 | ☎(0997)53-5101 |

## 沖縄地区

| 地区 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 沖縄 | 浦添市城間4丁目23-11 | ☎(098)877-1207 |

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0600

# 故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

| こんなときは | ここをご確認・処置ください | 参照ページ |
|---|---|---|
| 音が小さい。音が途切れる。<br>音質がよくない。<br>雑音が多い。<br>音がかすれたり、ふるえたりする。 | ● 市販のクリーニングテープで、ヘッド部を清掃してみてください。 | 9 |
| | ● ドルビー NR は、録音のときの状態に合わせて入／切してください。 | 4、8 |
| 録音できない。 | ● 録音用のつめが折れていたら、セロハンテープを貼ってください。 | 8 |

# 主な仕様

■ オーディオ部

トラック方式　4 トラック、2 チャンネル、ステレオ

周波数範囲 (NR off)

TYPE Ⅰ (NORMAL)　30 Hz～16 kHz (EIAJ)

TYPE Ⅱ (HIGH)　30 Hz～16 kHz (EIAJ)

TYPE Ⅳ (METAL)　30 Hz～16 kHz (EIAJ)

SN比 (TYPE Ⅱ)

NR off　54 dB (EIAJ)

Dolby B NR　64 dB

(A WTD 315 Hz 3 % 第 3 次ひずみ率)

■ モーター

キャプスタン　DC サーボモーター

リール　DC モーター

早巻き時間 (C－60)　約 52 秒

ワウ・フラッター　0.1 % (WRMS)

■ 総合

電源　アンプから供給

寸法 (幅×高さ×奥行き)　196×105.8×236.1 mm

質量　約 1.5 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

**この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。**

**愛情点検**　長年ご使用のステレオカセットデッキの点検を!

**こんな症状はありませんか**

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

**このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

**便利メモ**（おぼえのため、記入されると便利です。）

| 販売店名 | ☎（　　）　－ | 品番 | RS-HDA710 |
|---|---|---|---|
| お客様ご相談窓口 | ☎（　　）　－ | お買い上げ日 | 年　月　日 |

**松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部**

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）2000

RQT5437-S
H0900SG0

Panasonic　ステレオカセットデッキ　RS-HDA710　取扱説明書